

## 光陽の里だより

## 猪、襲来

7月26日

## 第2回草刈り

本年第2回目の草刈りを26日に行った。全体をA、F班に分け、班長を決め、各班に割り当てられた箇所の草刈りを、午前8時より約一時間、それぞれに汗を流した。

アスファルトを突き抜けた雑草処理なので、草刈り機の刃は古いまま、火花の散るのもかまわず、強引に作業し、終了後に替え刃作業、毎回、この草刈りを区切りとして刃を付け替えることにしている。

班長は出席を取り、人員を確保、(人数不足の班は他班より融通をつけて貰っていた)、作業は毎年変わることもないの

で、手慣れた作業でスムーズに行われた。出席率は例年より多少アップしていた。ご苦労様でした。

光陽の里に猪が襲来しています。6月25日に畑のサツマイモの苗の様子を見に行ったとき、南の隅の5、6本が掘られ、かき回されていました。誰かのイタズラか?とも思いましたが、猪が久し振りに来た様子、幸い5、6本の苗をまだ根が生きていると思い植え直しました。

今年は耕耘機を新調したこともあり、気合を入れて耕していますが、猪対策として、山と畑の境をしっかりとつける意味で、サツマイモ畑の周りに、耕耘跡を1メートルほど広げておきました。毎日、顔を出している跡を付けておけば、大丈夫ではないか、と勝手に推測して対策と

していたのですが、7月10日、それまでの雨続きから一転、晴れたトタンに猪が来襲したと、畑の仲間から、ふれあい小屋で聞きました。前述の対策を言ったところ「甘い、昨日来た?たぶん派手に荒らされているよ」といわれ、そういう

9日までは雨の中でも顔を出していたのに。10日は用事で……、押っ取り刀で畑に駆けつけましたが、……大丈夫でした。

それで、11日も芋畑の周りにきっちり耕耘跡をつけてきました。これで12日に結果を見に行き、ダメなら、柵なり対策を考えなければいけない。畑仲間からの陳情を市農林課に交渉する予定。皆さんも猪対策をしっかりと。

26日、草刈りの後、畑を見に行ってみたら、猪にやられていた。西の苗75本分が全滅、東の苗はまだ三分の二位は大丈夫だった。西村さんに聞くと「防鳥網を張れば?」。早速、カインズホームへ走り、「防鳥網」を手配、野田さんにSOSを出したところ、早速に駆けつけてくれた。猪対策に周囲に針金で囲みをつけてくれた。

横の南瓜もやられていた。今年は南瓜も実り、只今3個ばかりを大きくなるのを日々楽しみにしていたのに……



手前の真ん中、芋が掘られている

猪対策に本腰を入れたくなる事件でした。

以後、毎日畑には顔を出し、何らかの作業跡が残るように、細工をして帰ることを日課にしている。

畑に顔を出さなかった、6月10日と7月25日、このたった2日が悔やまれてならない。



網と針金で対策をした

不耕作農地、荒廃農地と言い続けてもう10年になる。事態はいよいよ深刻?な筈なのに声は大きくな

らない。論点がずれているのか、経済原理とは逸脱した新しい観点から、新しい人生の楽しみ方?定年帰農?全く別の観点からのアプローチが必要なのではないか。(松井記)